

一般社団法人 千葉県作業療法士会

令和2年度 第2回臨時総会  
(令和3年度予算総会)

## 議案書

日時：令和3年3月29日（月）19時30分～  
場所：千葉県作業療法士会 事務局

事前説明会 : ZOOMにて  
令和3年3月20日（土・祝）10時～11時

【第1号議案 千葉県作業療法士会 組織図の変更】

一般社団法人千葉県作業療法士会 会長 坂田 祥子

これまで、当士会として必要と考える活動を特設委員会や事業部のなかで行って参りました。数年、活動を重ねてきたことで、今後も活動の継続の必要性や対象や内容が明確になってきた活動がございます。県士会内の連携を深め活動を充実させることを目的に、各部局等の機能や役割に基づき組織改編を行いたいと思います。

各部局の機能や役割と組織改編の概要は次の通りです。

事務局：会員管理、会員および各部・委員会の県士会活動の支援（調査部、福利厚生部、渉外委員会を統合）。

ブロック活動部：ブロック単位での会員同士の交流・情報交換と、より地域社会に根差した県士会活動。

学術部：学問としての作業療法とその実践への応用に関する研鑽と啓発（学会委員会を統合）。

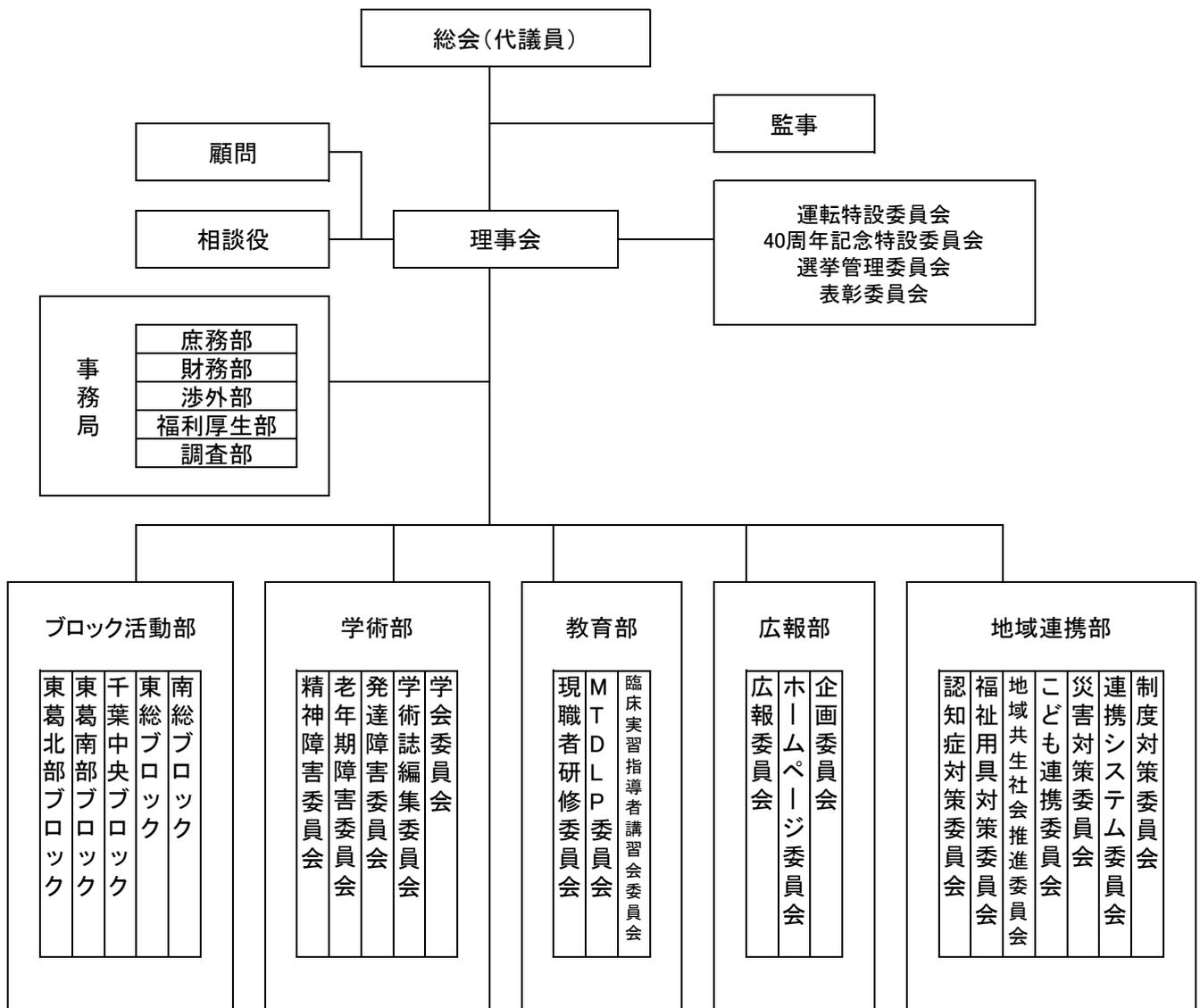
教育部：日本作業療法士協会生涯教育制度の推進（MTDLP委員会、臨床実習指導者講習会を統合）。

広報部：当士会に関する広報活動（企画委員会の学生対象の事業を統合）。

地域連携部（新設）：当士会と地域社会との連携の強化・推進（保険部、事業部災害対策委員会、学術部発達障害委員会の活動の一部を統合）。

特設委員会：運転特設委員会の活動期間延長。40周年記念事業設置。

常設委員会：表彰委員会（新設）。



## 【第2号議案 令和3年度 事業計画及び当初予算計画】

### 令和3年度 活動方針

一般社団法人千葉県作業療法士会 会長 坂田 祥子

日頃より県士会活動にご協力いただき、御礼申し上げます。

当士会は、「リハビリテーション&ノーマライゼーション」の理念のもと、会員が学びあい、支え合い、力を合わせ、医療・介護・保健・福祉分野において県民に貢献する県士会を目指します。そのために、会員同士の「つながり」・「育ち」・「参加する」を促進する県士会活動を展開します。

令和3年度は、大きく2つ「千葉県作業療法士会の組織改編のもと活動の実施」と「コロナ禍での活動の継続」が挙げられます。

#### 1. 千葉県作業療法士会の組織改編のもと活動の実施

- ・ 事務局機能の統合：これまで調査部、福利厚生部、渉外委員会として行ってきた機能を事務局に統合し、会員管理、会員および各部・委員会が県士会活動を行う上での支援を行います。令和3年度は倫理問題の対応のあり方の検討を進め、体制を整えることを目指します。
- ・ 学術活動の充実：領域ごとの学術活動や学術誌千葉作業療法の編集・発行と学会運営を統合した組織を編成し、学問としての作業療法とその応用について深められるよう、各部局委員会の連携のもと学術活動の充実に図ります。
- ・ 生涯教育プログラムの推進：日本作業療法士協会生涯教育制度のプログラムである現職者研修会、MTDLP研修会、臨床実習指導者講習会を開催し、生涯教育プログラムを推進します。
- ・ 地域連携部の創設：当士会と地域社会との連携を強化・推進すべく地域連携部を創設します。地域社会で作業療法士が活躍するための人材育成研修や情報交換、地域社会や会員に対するニーズ調査、各種制度に対応する当士会の在り方などの提案を行います。
- ・ 広報活動の整理と充実：県士会ニュース、ホームページ、Facebook、Twitter、多様な広報のツールを管理し、それぞれの特徴を生かした広報活動を展開します。効率的な活動を目指し、これまでの広報活動を整理・見直し、更なる充実に図ります。
- ・ ブロック活動の推進：ブロック単位での会員同士の交流・情報交換をベースに、より地域社会に根差した県士会活動を担います。
- ・ 表彰委員会：令和2年度に策定した表彰規定に沿って表彰委員会の活動を開始します。
- ・ 運転特設委員会：令和2年度で3年間の活動を終了する予定でしたが、コロナ禍の影響を鑑み活動期間を延長します。
- ・ 40周年記念事業実施：当士会は1981（昭和56）年に設立しました。2021（令和3年）年に40周年を迎え、令和3年度内に記念事業を実施します。
- ・ 代議員選挙執行：令和3年度は、代議員選挙を執り行います。

#### 2. コロナ禍での活動の継続

令和3年度は引き続きコロナ禍での活動となることが予想されます。Webを用いた会議や研修会の開催が多くなると考えますが、対面での活動は感染予防対策を講じて開催していきます。Webでの活動は主にZoomを用いていますが、活動に支障が生じないよう必要な機器等の環境整備に努めます。対面集合形式での活動指針 Ver2を作成していますが、状況に応じて更新し、会員に通知してまいります。

引き続き、県士会活動へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 事務局 庶務部

1. 会議の開催
  - (1) 定時総会 年1回(6月第4日曜日) 臨時総会年1回(3月)
  - (2) 理事会 年12回(オンライン含む)
2. 会員原簿、名簿の作成・管理
  - ・新入・転入会員の加入受付・手続き
  - ・異動、退会、休会の受付・手続き
  - ・日本作業療法士協会会員管理システムの活用
  - ・新規会員原簿の作成、データ入力
3. 内外公文書の作成・発送・收受・保管に関すること
  - ・施設使用願い、講師派遣依頼、講師依頼、委員派遣依頼 他
  - ・役員・各部局委員の委嘱状
4. 後援名義の使用許可
5. ニュース等の発送
  - ・封入作業委託先：千葉県身体障害者福祉事業団 更生園
  - ・発送回数：6回(ニュース6回)
6. 部局委員会名簿の管理
7. 生涯教育他団体資格審査の受付
8. 法人登記事項変更手続き
9. 規定等の整備
10. ZOOM ライセンス管理
11. 事務局移転準備
12. 千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連携推進会議に関すること
13. その他

## 事務局 財務部

1. 年会費未納・滞納の会員の究明化と催促状送付
2. 一般社団法人 千葉県作業療法士会の親口座の管理
3. 手続き済みの会員の口座より、年会費自動引き落としに関わる作業
4. 口座振替用紙の保管
5. 口座に直接年会費を入金した会員の情報管理
6. 税理士の指導を仰ぎ、会計管理に関わる各種書類の作成と保管と処分
7. 税理士の指導を仰ぎ、会計監査に関わる事務業務
8. 補正予算決議後予算確保と振込
9. 4か月ごとの予算締め作業
10. 予算執行率の確認

※部員人数：4名 事務員：3名へ指示の上、事業を遂行する。

## 事務局 渉外部

1. 千葉県精神保健福祉協議会への団体加入、理事・実行委員等の派遣
2. 千葉県精神保健福祉協議会頭彰の推薦
3. 介護認定審査会委員・障害者介護給付費等審査会委員の推薦
4. 千葉県介護支援専門員協議会への理事・代議員派遣
5. 精神障害者地域移行推進専門部会への委員派遣

6. 千葉県地域リハビリテーション協議会員の派遣
7. 千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進作業部会への委員派遣
8. 千葉県介護保険関係団体協議会への団体加入、委員派遣
9. 千葉地域リハビリテーションセンター連絡協議会への委員派遣
10. 在宅医療・介護連携推進事業 市原圏域における代表者の派遣
11. 委員派遣に関するマニュアルの作成

※部員人数：3名

## **事務局 福利厚生部**

### 1. 活動計画

- ① 新人・会員オリエンテーション

資料作成。ホームページからのダウンロード形式で行う。

- ② 倫理窓口の設置
- ③ 求人求職
- ④ 託児事業

対面形式で行われる研修会等の託児コーディネート

## **事務局 調査部**

1. 各部局と協力し調査活動を実施
2. よりよい調査方法（情報収集方法等）の検討
3. 調査結果を県士会ニュース等で報告

## **地域連携部 制度対策委員会**

- (1) 委員会員は5名程度を目標に新規委員を募集する。
- (2) 制度改定に伴う新規課題に対する県士会内の初動対応
- (3) これまでの保険部機能の引継ぎによる会員への情報配信
- (4) 調査部と連携し会員の実態調査（2021年度は調査計画）

## **地域連携部 連携システム委員会**

- (1) 委員会員は5名程度を目標に新規委員を募集する。
- (2) 従来のマメールの運用の見直し
- (3) 各部署（ブロック）と連携し配信機能整備

## **地域連携部 こども連携委員会**

- (1) 委員会員は5名程度を目標に新規委員を募集する。
- (2) これまでの県内における依頼の対応整理
- (3) 発達障害委員会と連携し、学校教員向けWEB研修会を1回開催する。
- (4) 次年度以降の活動方針を計画する。

## **地域連携部 災害対策委員会**

1. 県士会における災害対策に活用できるネットワーク体制の構築と運用
  - ① J A O T災害対応訓練への参加
  - ② 安否確認訓練の実施（年1回）
2. 県士会における災害支援活動基本指針等の見直し
3. 災害リハに関する連携体制構築・人材育成
  - ① J I M T E F研修受講（委員の災害対応に関するスキルアップ）
  - ② J A O T災害支援研修会への参加（年1回）

- ③ 会員向け研修会の開催（年1回）
  - ④ 千葉県作業療法士学会での啓発活動
  - ⑤ 千葉POS災害対策委員会への参画
  - 4. 千葉 JRAT 構成団体としての活動
    - ① 千葉 JRAT 幹事会への参加（委員2名、年4回）
    - ② 九都県市合同防災訓練への参加協力（年1回）
  - 5. 災害発生時の支援活動
    - ① 支援者向けパンフレットの作成
    - ② 県士会災害対策本部の設置と活動
    - ③ 千葉 JRAT へとしての支援活動
- \*会議開催（年5回）

**地域連携部 地域共生社会推進委員会（旧事業部 地域連携推進委員会）**

1. 研修事業

- ・地域連携推進研修会の開催：「千葉県地域 OT 連携ミーティング（STEP 0+1 研修）」
  - 〈対象〉 地域支援・地域リハビリに関心・興味がある千葉県内の OT 等
  - 〈目的〉 ①コロナ禍での地域支援の現状や課題の共有②OT の支援の質の向上 ③地域支援の情報収集
  - 〈実施方法及び回数〉 Zoom による遠隔会議 ・1~2 回（平日夜間を想定）
  - 〈参加費〉 無料

※STEP3(65 歳大学関連)は講師料も勘案し対面で確実な参加者が見込まれるようになってから実施

- ・65 歳大学関連研修会の開催
  - 〈対象〉 地域連携推進委員活動に関心を持つ千葉県 OT 士会員および現委員・県士会に関心のある非会員 OT
  - 〈目的〉 会員および委員の資質の向上・非会員 OT の県士会活動参加のきっかけ作り
  - 〈方法〉 研修会（65 歳大学関連・STEP3 簡易版）の開催（オンラインも想定）
  - 〈参加費〉 1500 円×27 名程度

2：ネットワーク構築と見直し(継続)

- 〈対象〉 千葉県 OT 士会員
- 〈目的〉 (1) OT ネットワークを構築し、スムーズでダイレクトな情報発信を可能とすること  
(2) 千葉県 OT 士会員が欲している情報の配信を速やかに行うこと  
(3) 災害時の安否確認システムなど、他委員会活動を結びつけ配信すること  
(4) より周知しやすい配信システムの継続的な検討
- 〈方法〉 ・マメール案内（県士会活動案内 研修会案内 災害安否確認）の継続  
・マメール登録者増：広告手段の検討（郵送物に案内同封他 継続検討）

3. 地域における OT の活動の現状把握

- 〈目的〉 各地域の OT の活躍の現状と課題を把握し今後の県士会及び委員会活動の検討材料とする
- 〈方法〉 ①昨年度実施した step 0 + 1 研修での地域での OT の現状と課題の情報整理  
②各ブロック委員に研修会への参加・講義依頼 ブロック長会議への参加 等で情報共有を図る

4：定期委員会の開催（月1回 約2~3時間）

- <目的> 活動計画の実施準備・振り返り等
- <方法> WEB 開催（委員の所在が各地に渡る為、基本的に WEB 開催）

5：本協会関東ブロック会議への参加

- <目的> 日本作業療法士会の関東地区の地域包括ケア関連の情報共有・意見交換
- <方法> 会議参加・得られた情報の委員会での共有と意見交換等（2~3か月に1回1~3名遠隔会議の予定）

## 地域連携部 福祉用具対策委員会

1. 県士会員及び県士会における福祉用具機器などに関するニーズ調査
2. 県士会員向けに福祉用具相談窓口の広報と活用の促進
3. 協会・他団体との連携
  - 1) 研修会企画運営
  - 2) 事例集（連携・導入に関する）作成の検討
4. HCR 参画の検討と相談窓口での相談支援の継続
5. 協会事業である「生活行為工夫情報モデル事業」参加に向けた準備
6. 福祉用具相談支援アドバイザー全国会議への参加
7. 保険者機能強化推進交付金に関する取り組み  
\* 上記に対する会議の開催毎月（オンラインベース）委員数7名（予定）

## 地域連携部 認知症対策委員会

### I. 認知症リハビリテーション研修会（基礎コース・応用コース）の開催

〈対象〉作業療法士・理学療法士・言語聴覚士の資格を有する者

（原則として、千葉県作業療法士会・千葉県理学療法士会・千葉県言語聴覚士会 会員とする）

〈目的〉① リハビリテーションを担う三職種に対し、認知症の疾患、制度、支援制度などの基礎知識や、認知症リハビリテーションの基本を習得し、認知症支援の理解並びに知識の習得を図る。

② 認知症の当事者及び家族が、できる限り自分らしい生活を継続できるように、リハビリテーション専門職の立場から適切な支援やサポートができる知識、技術を習得する。

③ リハビリテーションを担う三職種が、基礎および応用的知識・技術を活かし、各地域において認知症のリハビリテーションリーダーとして対応できる知識、技術を習得する。

〈方法〉① 基礎コース 日時：R3年7～8月の3日間 定員：50名 開催方法：オンライン

② 応用コース 日時：R3年10～12月の4日間 定員：30名 開催方法：オンライン

※感染対策を踏まえ、次年度はオンラインでのライブ配信での開催を検討する

### II. 認知症フォローアップ研修の実施

〈対象〉認知症リハビリテーション専門職研修（応用コース）を修了したリハビリテーション専門職

〈目的〉① 地域・介護・医療のどの領域においても認知症に対応できるリハビリテーション専門職を確保するために、認知症に関する最新かつ最低限の知識を修得させる

② 認知症のリハビリテーションリーダーとして実際に活動できる人材を発掘・育成する

③ 各地域において活動できる顔の見える関係づくりを促進する

〈予定〉R4年1月～3月くらいに、1回開催を予定

### III. 認知症の人と家族の会との関係づくりと支援体制の構築

〈目的〉認知症の人と家族の会との関係づくりと協働研修、ご本人の想いも聴取し、今後に繋げる

〈予定〉認知症の人と家族の会千葉支部の会合に、委員が出向いたり、オンラインで話をしたりする中で、今後、一緒に行える活動や研修を模索する。または、患者等関わりのある当事者（家族含む）に、面接やアンケート等をする機会を設ける。

## 広報部 ホームページ委員会

1. ホームページコンテンツについて
  - 1) 研修会・求人広告掲載
  - 2) 更新・修正作業会員の方・一般の方への情報掲載

- ①作業療法士（OT）を目指す方へ
- ②過去の県学会の学会演題一覧
- ③施設一覧・各ブロック（地域）の紹介
- ④一般の方向けコンテンツの検討

3) 書籍紹介コーナーの随時更新

## 2. その他

- 1) 求人広告の事務作業の簡略化
- ・入金額方法の確認方法の検討

### 広報部 企画委員会

学生に対する県士会の紹介

- ①企画会議（6回）
- ②作業療法学生対象の県士会に関する啓もうを目的とした企画を実施（2回）

### 広報部 広報委員会

#### 1. ニュース関連

- 1) ニュースの発行 年間6号
- 2) 記事スケジュール、記事依頼方法の見直し
- 3) 各ブロックの広報委員との会議を通して、県士会やブロック活動が会員に分かりやすく関心を持ってもらえるような記事の掲載方法とニュースの掲載方法の検討
- 4) 求人広告の掲載
- 5) 賛助会員から広告掲載依頼対応、管理

#### 2. 推進活動

- 1) OT 養成校などとの連携、OT の啓蒙
- 2) OT の説明や、仕事の紹介動画の制作
- 3) 他の部署と連携を図り、県士会（ブロック活動を含む）の魅力が中学・高校などへ広報の模索
- 4) 県士会パンフレットの配布、内容の見直し、送付など
- 5) 県士会啓発グッズの開発と検証

### 教育部 臨床実習指導者講習会特設委員会

- 1. 臨床実習指導者講習会開催（年5回）  
募集定員 各講習会 50～70名程度を予定。
- 2. 臨床実習指導者講習会フォローアップ研修（年3回）  
募集定員 各回 30名程度
- 3. 会議（年10～15回程度）

### 教育部 MTDLP 委員会

- 1. 県士会員や県民への普及・啓蒙活動
- 2. 勉強会や研修会の準備や開催
- 3. 協会・他都道府県士会、他職能団体との連携
- 4. 県士会ニュースへの掲載やHP活用し、生活行為向上マネジメントの広報活動

### 教育部 現職者研修委員会

- 1. 委員数は28名とし、研修会ごとの担当制とする。
- 2. 委員会について  
全体会議2回、および研修担当者ごとの部会を必要に応じて行う。
- 3. 研修会の運営について  
日本作業療法士協会生涯教育制度に従い、現職者共通研修を10講義実施する。また、現職者選択研修は、「精神障害領域」の1領域を実施する。

4. 事例研究Ⅲ（事例発表）の受講を促す。また、既履修者の受講を認め、事例を通じた研鑽の場とする。
5. 共通研修以外で行った事例研究③の事例報告履修申請の審査及び修了印手続きを行う。
6. 委員1名が、日本作業療法士協会生涯教育推進委員として会議へ出席、情報提供及び収集を行う。

## 学術部

本部：全体会 年2回

### 学術部 精神障害委員会

研修会年1回（7月）、会議年3回

### 学術部 老年期障害委員会

意見交換会年1回、会議年3回、学会ワークショップへの参画

### 学術部 発達障害委員会

研修会年1回（10～12月）、会議年3回

### 学術部 学術誌編集委員会

学術誌発行年1回（3月）、会議年3回

## 学術部 学会委員会

1. 令和3年度第23回千葉県作業療法士学会の開催
  - ・開催日：未定
  - ・開催地：WEB開催または東葛北部ブロック
  - ・学会長：検討中
  - ・実行委員長：検討中
  - ・会場：検討中
  - ・学会テーマ：未定
  - ・学会内容：基調講演 ・ワークショップ ・演題発表 ・活動報告など
2. 学会参加率の向上を図るため、より充実した内容及び対象を明確化する。
3. 県民・市民へ作業療法の周知を図る。
4. 会員に向けた千葉県士会活動広報の場としての充実を図る。

## ブロック活動部 ブロック活動

1. ブロック長合同会議の開催（年4回）
2. 県士会ニュースへの掲載やHP活用し、各ブロックの広報活動

### ブロック活動部 東葛北部ブロック

第23回千葉県作業療法士学会の準備委員会としての活動を主とする。

1. 全体会議：月1回、準備進捗状況により調整
2. 学会準備：新規ブロック委員の増員
3. 広報活動：県士会活動及び次回学会の周知
4. 調査活動：新型コロナウイルス関連について、東葛北部内の情報収集等

### ブロック活動部 東葛南部ブロック

1. 全体会議：1-2ヶ月に1回のZoom会議（必要に合わせて頻度調整）。
2. 研修会：1-2回開催予定。詳細は未定。
3. 圏域内の作業療法士間の交流の場の企画
4. 圏域内に勤務している作業療法士や働く職場環境等の情報収集（方法は検討）。

#### 5. 圏域内に勤務しているブロック委員増員

##### ブロック活動部 千葉中央ブロック

1. 全体会議：年 6 回開催
2. 研修会：中央ブロック主催のものを一件予定（Web 開催）
3. 千葉中央 POS の活動への参加
4. 千葉市健康づくり大会：例年 10 月ごろ。2020 年度は中止。千葉市の動きをみて、県士会として対応する
5. ブロック運営のマニュアル作成：たたき台の作成を進めていく

##### ブロック活動部 東総ブロック

1. 全体会議：2 回 Web で開催予定
2. 研修会：1 回開催予定。詳細は未定
3. ブロック内会員把握活動（『東総ブロック LINE』のメンバー増員に向けて）
4. 地域広報活動

##### ブロック活動部 南総ブロック

1. 全体会議：4～6 回開催予定
2. 地域活動への参加：木更津市生涯学習フェスティバル、木更津福祉まつりなど。Web 開催の場合は参加方法を検討する。
3. 調査活動の継続：南総地域に従事している OT や南総地域の OT が活動参加している団体の調査
4. 広報活動：地域への県士会・ブロック活動の周知やブロック委員増員へ向けた働きかけ

#### 40 周年事業特設委員会

##### 1 活動期間

令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

##### 2. 活動計画

千葉県作業療法士会設立 40 周年を迎えるにあたりこれまでの歩みと活動をまとめ記念誌の発行を行う。  
記念誌は県内教育機関と近隣県作業療法士会へ発送する。

##### 3. 記念誌予定体裁

書籍体裁	ハードカバー
判型	A4 判
ページ数	50 ページ
本文カラー	2 色刷り
印刷部数	100 部

#### 選挙管理委員会

- ・委員会を開催する。
- ・代議員選挙を執り行う。

#### 表彰委員会

- ・委員会を組織し、委員会を開催する。年 3 回。
- ・他団体からの表彰候補者選出依頼への対応。
- ・作業療法士養成校卒業生を対象とした奨励賞の表彰を行う。

#### 運転特設委員会

## 1 活動期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

## 2. 活動計画

千葉県で運転支援を行う作業療法士に対し、運転支援に関する情報を伝え、運転支援が円滑に進むようにする。具体的には、運転に関する情報交換の機会の立案と提供、運転に関する知識技術向上のための学習会等の案内や運営を行う。

## 3. 活動内容

- ・委員会開催：年3回。
- ・情報交換会：年1回。
- ・学習会案内/運営：随時。